

第 55 期中央労働講座レポート

6月6日～8日の日程で第55期中央労働講座が開催され、地方・支部代表として参加させていただきました。

講義の内容は、組織運営・全港湾の成り立ち・労働基準法でした。特に労働基準法については、自分の知識の無さを痛感しましたが、とても勉強になる講義でした。今後、支部・分会で参考にさせて頂きたいと思います。

グループ討論・レクレーション・懇親会では、各グループ・第55期のメンバーの絆が深まり、楽しい3日間を過ごす事が出来ました。各支部・分会の情報交換する中で、状況・手法は違うが、目的は同じであることが改めて分かりました。その中で、全港湾として、先輩が作り上げてきてくれたことを受け継いでいくことがベースではあるが、今の時代に合ったやり方に変えていかなければならない。そして、私たちがそのやり方を継続していく中で、組合の活動の大切さや楽しさを次の世代に伝えていかなければならないのだと感じました。

この労働講座を開催して頂いた中央本部に感謝し、今回学んだことを生かし、繋がった仲間との絆を深め、今後の活動に全力で取り組んでいきたいと思います。

全日本港湾労働組合日本海地方舞鶴支部書記長 合林 真吾